

平成25年度 事務事業マネジメントシート

事業名	南消防署救急救助活動事業			会計	款	項	目	大	事	小	事
政 策	02	2節	生活の豊かさを実感できる流山（生活環境の整備）	主管課	南消防署						
施 策	2-3	自然災害・都市災害への備えと予防		主管課長	野口 博一						

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	市内在住者、在勤者等	意図	災害、事故、疫病等による傷病者を適切な医療機関に搬送すること。
事業内容	応急手当普及活動。 多種多様化する災害現場を想定した救急・救助訓練。			
事業開始から現在までの状況変化	平成21年度より南消防署となり、つくばエクスプレスの開通に伴い、管轄地域のビル、住宅及び交通量の急増により、各種災害の多様化や救急需要の増加などが予想される。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成23年度	平成24年度	平成25年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
指標	① 普通救命講習修了者	134	114	104	人	↑↑↑	
	② 救急出動件数	1,268	1,305	1,437	件	↓↓↓	
	③ 救助出場件数	9	11	25	件	↓↓↓	
	④ バイスタンダーCPR件数	7	4	10	件	↑↑↑	
指標で表すことができない定性的な成果							目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） 応急手当普及活動により、市内在住者及び在勤者等の普通救命講習会受講者が増加した。一方、救急需要は増加の傾向であり、高齢者の搬送率が年々高まっている。
事務事業のコスト		平成23年度	平成24年度	平成25年度			
事務事業の総コスト(a=b+c)		998,836	826,993	782,000			
事業費(b)(円)		998,836	826,993	782,000			
うち一般財源		998,836	826,993	782,000			
職員給与費(c)(円)							
人役・職員(人)							
人役・再任用(人)							
人役・臨職(人)							
人役・嘱託(人)							
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）							
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）							

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	I 拡 充 （事業を拡大して継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H25)の改善計画	普通救命講習を開催し、市民へ救命処置の普及啓発を行うとともに、救急車の適正利用を広報する。	③取り組みの課題	救急業務は市民生活に深く定着し、プレホスピタルの担い手として、より一層の高度救急処置が求められる。一方救急需要が増大しているため、救急車の適正利用が必要である。
②今年度(H25)に実施した取り組み	救急需要の増大に伴い、高度救命処置に必要な資機材の整備を図り、市民へ普通救命講習への参加を呼び掛ける。	④今後の改善計画	救急・救助用資機材を整備するとともに、市民参加の普通救命講習会を開催し、救命率の向上に努める。また早めに医療機関での受診を促し、救急車の適正利用を周知する。